



### 平成30年度 学校評価について

平成31年3月15日

保護者・全児童・教職員を対象に、今年度の内海小学校の教育についてアンケートを実施し、自己評価として検証しました。また、学校評議員やPTA 役員・委員の皆様にも、学校関係者として評価内容を検証していただきました。学校評価の概要を以下の通り報告させていただきます。紙面の関係で一部の紹介となります。

(アンケート回収数 児童214人 保護者143人〔兄弟でそれぞれ回答する項目については199人〕 教職員15人)

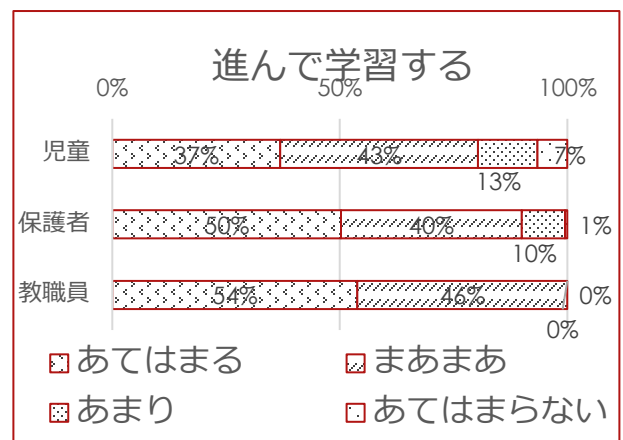
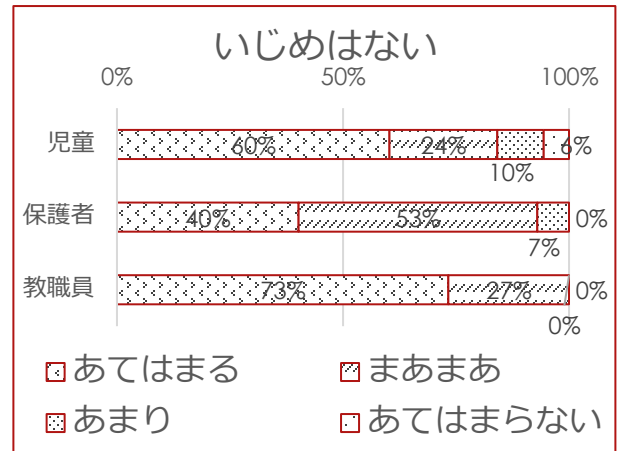
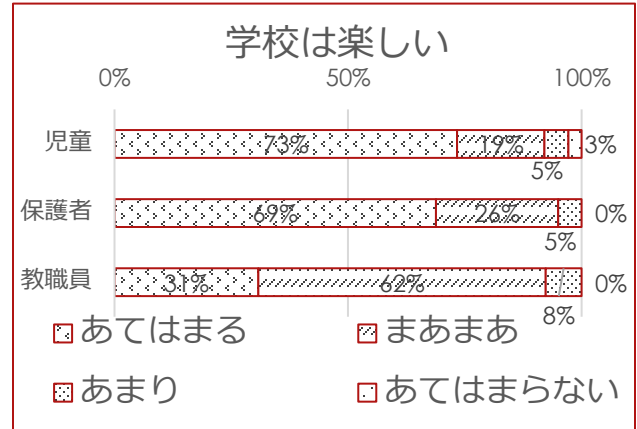
#### ① 学校生活について

90%を超える児童が学校生活を楽しいと回答しており、保護者の評価も高いです。しかし、「(あまり) 楽しくない」という児童も8%余り(17名)います。また、いじめについても、「(あまり) ない」と答えた児童が、84%いる反面、少なからずいじめがあると感じている児童は、16%(34名)いるのが現状です。

学校生活は、子どもたちにとって楽しく過ごせる場でなくてはなりません。また、人と人のかかわり方を学ぶ場でなくてはなりません。子どもたちが互いの個性を認め尊重し合えるよう、学級・縦割り班・通学班での楽しい活動を今後も工夫し、人間関係力の育成に努めていきます。また、特に道徳教育の充実を図り、子どもたちの豊かな心を培っていきたいと考えています。

#### ② 学習面について

学習に80%の児童が意欲的に取り組んでいると答えています。しかし、「(あまり) 意欲的でない」と答えた児童も20%(42名)おり、保護者、教職員の評価と児童の意識にずれが生じています。今後も自信をもって意欲的に学習に向かう児童がさらに増えるよう、魅力的な授業づくりに取り組み、研修を通して指導力の向上に努めます。また、毎日の授業やチャレンジ学習などの取組を通して、基礎学力の向上に粘り強く取り組みます。



家庭学習については、「宿題など家でもきちんと勉強している。」という児童が95%、保護者は、80%を超えています。教職員は、「家庭学習をきちんと行うよう指導している」で68%となっており、教職員の評価が低いです。「家庭学習の手引き」を活用し、学年に応じて、宿題だけでなく自主的に学習する子をご家庭の協力をいただきながら、育てたいと考えています。

「進んで自分の考えを発表する」という質問については、88%の児童ができていると考えています。今年度、道徳科の授業を中心に進んで意見を発表し合い考えを深め合う場面を意識的に取り入れてきました。今後も自分の内面を見つめ、自分の思いをや考えを発表できる子どもを育てていきます。自分の考えを発表することは、コミュニケーション能力の基礎となります。行事や授業を通してさまざまな課題に対処できる子どもを育成していきます。

### ③ 安全面について

風水害・大規模地震等への対応などの面では、昨年度に引き続き、保護者の皆様からは高い評価をいただいています。今年度は、地域の方々やPTA委員の協力の下、東端の高宮、保小中合同の林之峯への2回の地震・津波避難訓練と、予告なしの地震避難訓練が実施できました。いざというときに率先避難者として、自分の命を守るための訓練を、今後とも検討し、継続していく必要があると考えます。

### ④ その他

「毎日ホームページなどが更新されて学校や行事での様子がよくわかるようになった」という声がある一方、学級・学年での取組の差や部活動中止についてのご意見、遠足のおやつについてのご意見を保護者からいただいています。もう一度、学校で検討を重ね、4月のPTA総会で報告したいと考えています。なお、教師が撮影している写真については、記録用です。販売等しません。ご理解ください。これからも、子どもたちが安心して、伸び伸びと生活できる笑顔あふれる学校をめざしていきます。

